

## 文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

## 四日市の近代産業の発展を支えた 旧東洋紡績富田工場の原綿倉庫

東洋紡績は大正3(1914)年、三重紡績と大阪紡績が合併してできた会社です。同年、三重紡績富田工場の建設用地を買収し、同7年5月に精紡機15,000錘を備え付けて操業を始めました。

大正9年に本社を本市から大阪市に移した後も工場の増設を続け、昭和5(1930)年の富田工場は、精紡機139,500錘、撚糸機28,160錘に拡大され、東洋紡績の工場施設の中でも最大規模となりました。

そのうち綿糸の原料を保管していた「原綿



現在もモールの一角に残る原綿倉庫



創建時の富田工場の鳥瞰図

倉庫」は、大正6年に建築されたレンガ造りの平屋建て木造トラス構造、屋根はセメント瓦葺です。平成12(2000)年に「国登録有形文化財」に登録されました。

現在、旧東洋紡績の広大な跡地はショッピングモールに変わり、多くの人でにぎわっています。モールの一角に残る原綿倉庫は、綿糸の生産で栄えた本市の近代産業の発展を今に伝えています。

市長の

vol.42

全力取材!

## 藤波選手金メダル獲得!

8月に開催されたパリ2024オリンピックのレスリング女子53kg級で、本市出身の藤波朱理選手が見事金メダルを獲得されました。

決勝戦当日は、藤波選手の母校である下野小学校の体育館でパブリックビューイングが開催され、私も参加させていただきました。早朝4時からの試合にもかかわらず集まった300人を超える皆さんと一緒に声援を送りました。金メダルを獲得した瞬間は、体育館が揺れるほどの歓声で、藤波選手には大きな感動をいただきました。

8月29日に金メダルの報告に市役所を訪れてくれた際、「レスリングを通して日本を



元気にできるように頑張りたい」「2年後のアジア大会の優勝を目指したい」と語っていただきました。

これからも藤波選手の活躍に期待して、応援したいと思います。

